



1・2月に市内で行われたイベントなどについてお知らせします

今月の表紙
奥日光湯元温泉
雪まつり



躍動感あふれる人魚の氷彫刻

2月2日(土)～10日(日)、奥日光湯元温泉雪まつりが開催され、数百個のミニかまくらがライトアップされる「雪灯里」や、全国の氷彫刻士11名が腕を競う「第13回全日本氷彫刻奥日光大会」が行われました。

家族で佐野市から訪れた平さんは「氷はすぐ溶けてしまうのに、丹精込めて作品を彫っていることにとても感動しました」と話してくれました。

2日(土)の夜には「湯の湖湖畔花火大会」も開催され、澄み切った冬空に花火が打ち上がり、訪れた人々を魅了しました。



氷彫刻の背に打ち上がる花火



折り紙のキーホルダーに喜ぶ外国人観光客



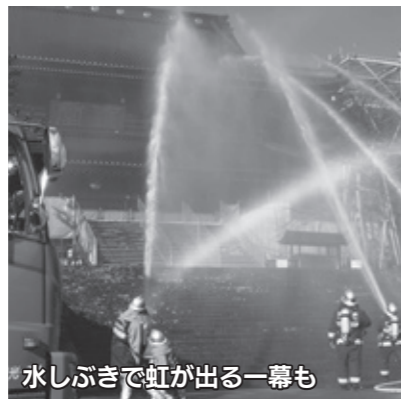
みんなにきれいな日光を見て欲しい!

東中学校3年生がおもてなし
1月24日(木)・2月1日(金)、東中学校の3年生が、観光案内などボランティア活動を行いました。これは、総合的学習「日光みらい科」の一環で「まちづくりを考えよう」をテーマに自分たちでできることとして、グループごとに駅前周辺で観光案内や、ごみ拾いなどを実施したものです。観光案内をした生徒たちは、パ

ンフレットを手に案内したり、折り紙の作品を手渡したりしました。積極的に外国人への観光案内をした柿沼大蔵さんは、「緊張するけれど、なんとか伝わっているのうれしい。これからも頑張つて声をかけていきたい」と答えていました。一方、ごみ拾いをした生徒たちは、広い範囲を歩き、袋いっぱいにごみを集めていました。



重要文化財の搬出演習の様子



水しぶきで虹が出る一幕も

二社一寺文化財防火デー防火演習
1月26日(土)、第65回日光二社一寺文化財防火演習が日光山輪王寺の三仏堂前で開催され、二社一寺や社寺文化財保存会、二社一寺自衛消防隊、消防関係者らが合同で演習を行いました。
文化財防火デーは、昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺金堂で火災が発生し、多くの文化財が消失したことをきっかけに、昭和30年

に制定されました。今回は平成大修理により、約9年ぶりに姿を現した輪王寺本堂(三仏堂前付近)から出火したことを想定し、消火、傷病者の救護、重要品の搬出活動などの演習を実施。輪王寺自衛消防隊の放水銃2基に加え、日光消防署や地元消防団も加わり、計6本の放水が行われました。



拍手に迎えられて新成人が入場



栗山庁舎での式の様子



和やかな雰囲気の中で記念撮影



晴れやかな表情で記念撮影



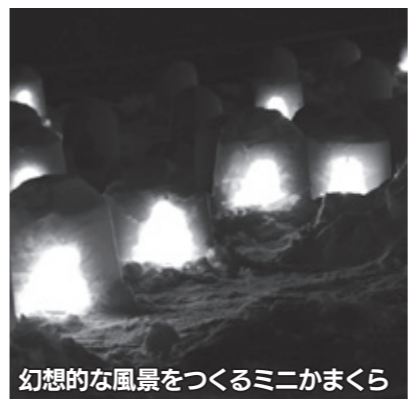
式を盛り上げた企画運営委員の皆さん



楽しいアトラクションでの一幕

日光市成人式
1月13日(日)、市の成人式が5地域で開催されました。平成31年の全国の新成人は125万人で、日光市では834人が晴れて成人の日を迎えました。
日光総合会館で開催された日光地域の式には、105名の新成人が出席。企画運営委員長の三田しずくさんが「人を思いやる優しい気持ちを持って社会に貢献していきたい」と述べました。式典後の

アトラクションでは、委員が編集した映像が流れ、懐かしい写真に会場は笑いや歓声が上がりました。一方、栗山庁舎で開催された栗山地域の式には8名が出席。中山可歩理さんが代表し、「大人として自覚と責任のある行動をしていきたい」と述べました。式典後は保護者と仲良く写真撮影をしたり、恩師と楽しく会話したり、ほのぼのとしたひとときを過ごしました。



幻想的な風景をつくるミニかまくら



美しく照らされた平家の里

湯西川温泉かまくら祭
1月26日(土)から、湯西川温泉かまくら祭が平家の里をメイン会場に3月3日(日)まで開催されています。
河川敷では約800個のミニかまくらの幻想的な光景が、観光客を魅了しています。
東京都から訪れた町田さんは「想像以上に美しい景色で驚きました」と話してくれました。



巨大かまくらにびっくり!

日光サードプレイス
1月20日(日)、日光サードプレイス「Life is NIKKO 話し合おう! 未来はぼくらの手の中に」が「しばらく図工室。」で開催され、遊び・仕事・生活のテーマについて、ディスカッションを行いました。
参加者たちは、各テーマについて日光のために何ができるかを真剣に考え、積極的に意見交換をしていました。



日光の未来を話し合いました